
【NITEケミマガ】 NITE化学物質管理関連情報 第213号
2014/9/24配信

本メールマガジン【NITEケミマガ】（NITE化学物質管理関連情報）は、化学物質管理に関連するサイトの新着情報、報道発表情報等を配信するサービスです。

原則として、毎週水曜日に配信いたします。

連絡先：chem-manage@nite.go.jp

----- 9/15～9/21の更新情報 -----

●お知らせ

9月17日付けで配信したNITE化学物質管理関連情報 第212号記載の「厚生労働省改正労働安全衛生法Q&A集」のURLを下記のとおり訂正致します。

●厚生労働省

【2014/09/01】

- ・改正労働安全衛生法Q&A集

→ <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11200000-Roudoukijunkyouku/0000056064.pdf>

標記資料が掲載されました。

●官報情報

【2014/09/17】

- ・残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約の附属書Gの追加に関する件
(同三百八)

→ <http://kanpou.npb.go.jp/20140917/20140917g00206/20140917g002060001f.html>

標記告示が掲載された。

【2014/09/17】

- ・残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約の附属書Aの改正に関する件
(同三百九)

→ <http://kanpou.npb.go.jp/20140917/20140917g00206/20140917g002060002f.html>

標記告示が掲載された。ヘキサブROMシクロドデカン(HBCD)が附属書Aに追加された。

【2014/09/18】

- ・水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の一部を改正する件(環境九九)

→ <http://kanpou.npb.go.jp/20140918/20140918h06377/20140918h063770008f.html>

標記告示が掲載された。

【2014/09/18】

- ・水質汚濁に係る農薬登録保留基準の一部を改正する件(同百)

→ <http://kanpou.npb.go.jp/20140918/20140918h06377/20140918h063770008f.html>

標記告示が掲載された。

●厚生労働省・農林水産省

【2014/09/16】

- ・「第59回 コーデックス連絡協議会」 (開催案内)

- ・厚生労働省

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000057315.html>

- ・農林水産省

→ <http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kijun/140916.html>

10月7日に標記会合が開催される。

時間：13時30分～16時30分

会場：霞ヶ関中央合同庁舎4号館 12階 共用会議室1219～1221号室

議題は、

(1) コーデックス委員会の活動状況

ア 最近コーデックス委員会で検討された議題について

- ・ 第37回 総会
- ・ 第27回 加工果実・野菜部会

イ 今後の活動について

- ・ 第21回 食品輸出入検査・認証制度部会
- ・ 第42回 食品表示部会
- ・ 第19回 アジア地域調整部会 など。

●厚生労働省

【2014/09/17】

- ・平成26年11月の特定化学物質障害予防規則等の改正
(DDVPおよびクロロホルムほか9物質に係る規制の追加)

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000057700.html>

標記資料が掲載された。

DDVPおよびクロロホルムほか9物質（※）に係る労働者の健康障害防止対策を強化すること等を目的として、「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令」（平成26年政令第288号）が平成26年8月20日に、「労働安全衛生規則等の一部を改正する省令」（平成26年厚生労働省令第101号）が平成26年8月25日に公布されました。これら改正政省令は、平成26年11月1日から施行・適用されます。一部の規定については、施行後も一定期間猶予されます。

このページでは、これらの改正政省令等に関する情報を掲載しています。

※クロロホルムほか9物質＝クロロホルム・四塩化炭素・1,4-ジオキサン・1,2-ジクロロエタン・ジクロロメタン・スチレン・1,1,2,2-テトラクロロエタン・テトラクロロエチレン・トリクロロエチレン・メチルイソブチルケトン

【2014/09/19】

- ・食安輸発0919第1号「平成26年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について

→ <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinanzentu/0000058638.pdf>

「平成26年度輸入食品等モニタリング計画」については、平成26年3月28日付け食安輸発0328第10号に基づき実施されている。今般、輸入時のモニタリング検査の結果、タイ産冷凍ニオイタコノキにおいて食品衛生法違反の事例があったことから、残留農薬（2，4-D）のモニタリング検査の頻度を30%に引き上げて対応する。

●国立医薬品食品衛生研究所(NIHS)

【2014/09/17】

- ・食品安全情報(化学物質) No.19 (2014.09.17)

→ <http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/2014/foodinfo201419c.pdf>

標記資料が掲載された。食品の安全性に関する国際機関や各国公的機関等の最新情報が紹介されている。

【2014/09/17】

- ・ 国立医薬品食品衛生研究所ニュース27号
第4回衛研シンポジウム開催
Rev1.8 「薬と化学物質のレギュラトリーサイエンス」－有効性と安全性を
求めて－

→ http://www.nihs.go.jp/nihs/news/eikenshinpojiumu_Rev1.8_20140917.pdf#zoom=100

標記開催報告が掲載された。

●環境省

【2014/09/16】

- ・ 土壌の汚染に係る環境基準の見直し（案）に対する意見の募集
（パブリックコメント）について

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18635>

9月16日から10月20日までの間、標記の意見募集が行われる。

1,4-ジオキササン、塩化ビニルモノマーについて、新たに土壌環境基準を設定するにあたり、実施されるもの。

【2014/09/16】

- ・ 水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準値（案）に対する意見の募集
について（お知らせ）

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18655>

9月16日から10月18日までの間、標記の意見募集が行われる。

農薬取締法に基づき、新たに7農薬(クレトジム、ジラム、テニルクロール、
テブフェノジド、トリロキシスルフロンナトリウム塩、ピリプロキシフェン、
ブロマシル)の水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準値を設定
するにあたり、実施されるもの。

【2014/09/16】

- ・ 水質汚濁に係る農薬登録保留基準値（案）に対する意見の募集について

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18657>

9月16日から10月18日までの間、標記の意見募集が行われる。

新たに7農薬（アンバム、イソキサベン、エトキシスルフロン、エトベンザニド、
トリフルミゾール、プロピザミド及びモリネート）について農薬取締法に基づく
水質汚濁に係る農薬登録保留基準値を設定するにあたり、実施されるもの。

【2014/09/18】

- ・「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の見直しについて（第4次答申）」及び意見の募集結果について（お知らせ）

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18643>

標記お知らせが掲載された。

【2014/09/18】

- ・「水質汚濁防止法に基づく排出水の排出、地下浸透水の浸透等の規制に係る項目の許容限度等の見直しについて（答申）」について（お知らせ）

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18644>

標記お知らせが掲載された。

【2014/09/18】

- ・「水生生物の保全に係る水質環境基準の類型指定について（第7次答申）」及び意見の募集結果について（お知らせ）

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18645>

2月4日から3月5日にかけて行われた標記意見募集の結果が公表された。

●農林水産省

【2014/09/17】

- ・「第19回 コーデックス アジア地域調整部会」の開催及び一般傍聴について

→ http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kijun/140917_1.html

11月3日～7日に標記会合が開催される。議題(予定)は、

1. 議題の採択
2. コーデックス総会及びその他の部会からの付託事項
3. 地域に関するFAO/WHOの活動（優先度及び開発能力のニーズを特定）
4. FAO/WHO調整部会の再活性化(地域調整部会の役割及び土台強化に関する提案)
5. 各国の食品管理システム及び食品規格策定への消費者の参画並びに各国におけるコーデックス規格の使用に関するコメント及び情報
6. 非発酵大豆製品の地域規格案
- 7.a のり製品の地域規格原案
- 7.b 路上販売食品の衛生実施規範原案

- 8.a CCASIA地域戦略計画2009-2014の実施状況
- 8.b CCASIA地域戦略計画2015-2020案
- 9. 食用コオロギ及びコオロギ製品に関する討議文書
- 10. 地域に関連する課題 など。

【2014/09/18】

- ・ 農薬による蜜蜂の危害を防止するための我が国の取組を改訂しました
→ http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_mitubati/index.html

標記資料が掲載された。

●内閣府食品安全委員会

【2014/09/16】

- ・ 食品安全委員会肥料・飼料等専門調査会(第93回)の開催について
→ http://www.fsc.go.jp/osirase/hisiryou_annai93.html

9月24日に標記会合が開催される。議題は、
(1)動物用医薬品（スピラマイシン）の食品健康影響評価について など。

【2014/09/16】

- ・ リスクコミュニケーションのあり方に関する勉強会(第4回)の開催について
→ http://www.fsc.go.jp/osirase/risk_communication_annai4.html

9月24日14:00～16:30、食品安全委員会大会議室にて標記勉強会が開催される。

内容は、

- (1)開会
- (2)勉強会メンバーによる発表
- (3)意見交換
- (4)閉会

【2014/09/16】

- ・ 第530回 食品安全委員会で報告した食品安全関係情報
(8月16日～8月29日収集分) について

→ http://www.fsc.go.jp/iinkai/hazard/kai20140916_530sfc.pdf

標記資料が掲載された。化学物質関連では、フランス国立農学研究所(INRA)が

低用量ビスフェノールA(BPA)と成体期の食物不耐症との関連性を報道発表、等。

【2014/09/16】

・第530回 食品安全委員会 配付資料

→ <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20140916sfc>

9月16日に標記会合が開催された。議題は、

(1)食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

・農薬5品目（ [5] はポジティブリスト制度関連）

[1] ジフェノコナゾール [2] フルオキサストロビン

[3] フルキサピロキサド [4] メトラフェノン

[5] ピラゾリネート（厚生労働省からの説明）

・動物用医薬品3品目

[1] ロメフロキサシン [2] ケトプロフェン

（厚生労働省からの説明）

[3] ケトプロフェンを有効成分とする豚の注射剤（ディニタル）

（農林水産省からの説明） など。

【2014/09/17】

・Bacillus subtilis MDT121株を利用して生産された α -アミラーゼに係る

食品健康影響評価に関する審議結果（案）についての意見・情報の募集について

→ http://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_gm102_a_amylase_260917.html

9月17日から10月16日までの間、標記の意見募集が行われる。

【2014/09/17】

・第31回 器具・容器包装専門調査会 配付資料

→ <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20140917ky1>

9月17日に標記会合が開催された。議題はフタル酸ベンジルブチル（BBP）に係る食品健康影響評価について など。

【2014/09/17】

・第38回 農薬専門調査会評価第三部会（非公開）配付資料

→ <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20140917no1>

9月17日に標記会合が開催された。議題は、

(1)農薬（フルチアセットメチル）の食品健康影響評価について など。

【2014/09/18】

- ・ 食品安全委員会添加物専門調査会（第134回）の開催について
→ http://www.fsc.go.jp/osirase/tenkabutu_annai134.html

9月29日に標記会合が開催される。議題は、
(1)クエン酸三エチルに係る食品健康影響評価について
(2)ケイ酸カルシウムに係る食品健康影響評価について など。

【2014/09/18】

- ・ 第38回 農薬専門調査会評価第四部会（非公開） 配付資料
→ <http://www.fsc.go.jp/fscis/meetingMaterial/show/kai20140918no1>

9月18日に標記会合が開催された。議題は、農薬（デルタメトリン及びトラロメトリン）の食品健康影響評価についてなど。

●産業技術総合研究所(AIST)

- ・ CCQM-NMIJシンポジウム

“Impact of Chemical Analysis and Reference Materials in Regulation on Food”食品の規制に係わる化学分析と標準物質の役割

→ https://www.nmij.jp/public/event/2014/CCQM-NMIJ_symposium/

標記お知らせが掲載された。

日時：10月16日（木）13:00～17:00（受付12:30～）

会場：つくば国際会議場中ホール300

●中小企業基盤整備機構

【2014/09/19】

- ・ [J-Net21]REACH コラム:REACH規則の制限手続きと国内法ーデンマークのフタル酸エステル類規制等ー
→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/reach/column/140919.html>

標記コラムが掲載された。

【2014/09/19】

・ [J-Net21]RoHS Q&A: Q.435 現時点でRoHS指令の対象外であるカテゴリーに属する製品をEUに輸出する場合、他指令に対応するため作成しているCEマーキングの適合宣言書には「RoHS指令の対象外」である旨を明記する必要があるでしょうか？

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/rohs/qa/435.html>

標記Q&Aが掲載された。

●農林水産消費安全技術センター(FAMIC)

【2014/09/18】

・ [メールマガジン] バックナンバーに第550号を掲載しました。

→ http://www.famic.go.jp/mail_magazine/backnumbers/No550.pdf

標記お知らせが掲載された。

●農業環境技術研究所(NIAES)

【2014/09/05】

・ 第28回気象環境研究会 生態系の微量ガス交換と大気浄化機能 (開催案内) を掲載しました。

→ <http://www.niaes.affrc.go.jp/sinfo/sympo/h26/20141119.html>

下記の要領で標記研究会が開催される。

日時：11月19日13:00～17:15

場所：つくば国際会議場 2階 中会議室202

プログラムは、

- ・ 大気成分の沈着現象の科学
- ・ 大気からの水銀の湿性・乾性沈着
- ・ 広域スケールでの有機化学物質の移動と沈着 (仮)
- ・ 植物による揮発性有機化合物の吸収
- ・ 植物によるハロゲン化合物の双方向交換
- ・ 森林土壌中のメタン酸化細菌によるメタン分解
- ・ 生態系スケールでのメタンの吸収
- ・ 土壌によるガス吸収現象の統一的な理解に向けて

●日本化学工業協会(JCIA)

【2014/09/19】

- ・「日化協 アニュアルレポート2014」刊行のご案内

→ <https://www.nikkakyo.org/news42-page>

標記資料が掲載された。

●化学物質評価研究機構(CERI)

【2014/09/18】

- ・ CERI ChemSafe 9月号に更新しました。

→ http://www.cerij.or.jp/service/10_risk_evaluation/international_regulations_04.html

標記情報が更新された。

内容は、国内外の化学物質安全情報、規制情報の最新の動向など。

●経済協力開発機構(OECD)

【2014/09/15】

- ・ Report on OECD Workshop on Children's exposure to chemicals

→ [http://www.oecd.org/officialdocuments/publicdisplaydocumentpdf/?cote=env/jm/mono\(2014\)29&doclanguage=en](http://www.oecd.org/officialdocuments/publicdisplaydocumentpdf/?cote=env/jm/mono(2014)29&doclanguage=en)

小児の化学物質への暴露に関するワークショップのレポートが掲載された。

【2014/09/16】

- ・ Report of the questionnaire on regulatory regimes for manufactured nanomaterials 2010-2011

→ [http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=env/jm/mono\(2014\)28&doclanguage=en](http://www.oecd.org/officialdocuments/displaydocument/?cote=env/jm/mono(2014)28&doclanguage=en)

工業用ナノ材料に対する規制に関するアンケートの報告書が掲載された。

●欧州化学品庁(ECHA)

【2014/09/16】

- ・ Restrictions under consideration

→ <http://echa.europa.eu/restrictions-under-consideration>

ECHAは、REACH規則に基づき、以下2物質の制限に関する社会経済分析専門委員会(SEAC)の意見草案に対するパブリックコンサルテーションを開始した。コメントの提出期限は、11月14日。

- ・ 1-methyl-2-pyrrolidone (NMP) (CAS:872-50-4)
- ・ Cadmium and its compounds (in Paints) (CAS:7440-43-9)

【2014/09/17】

- ・ Restrictions under consideration

→ <http://echa.europa.eu/restrictions-under-consideration>

ECHAは、REACH規則に基づき、以下物質の制限提案に関するパブリックコンサルテーションを開始した。コメントの提出期限は、2015年3月17日。

- ・ Bis(pentabromophenyl) ether (DecaBDE) (CAS:1163-19-5)

【2014/09/17】

- ・ RAC concludes on scientific opinions for CLH

→ http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/rac-concludes-on-scientific-opinions-for-c-1

ECHAのリスクアセスメント専門委員会(RAC)が5つの化学物質の調和化された分類・表示(CLH)案に合意した。5つの化学物質は以下のとおり。

- ・ Methanol
- ・ Chloralose
- ・ N,N dimethylacetamide (DMAC)
- ・ Iodomethane
- ・ Heptadecafluorononanoic acid and its sodium and ammonium salts (PFNA)

【2014/09/17】

- ・ ECHA Committees support 16 uses of substances of very high concern

→ http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/echa-committees-support-16-uses-of-substances-of-very-high-concern

ECHAのリスクアセスメント専門委員会(RAC)と社会経済分析専門委員会(SEAC)は高懸念物質(SVHC)のうち以下の物質のうち、16の用途について認める方針を示した。

- ・ Bis(2-ethylhexyl) phthalate (DEHP)
- ・ Bis(2-ethylhexyl) phthalate (DEHP)(in recycle)

- Dibutyl phthalate (DBP)
- Diarsenic trioxide

【2014/09/17】

- ECHA e-News - 17 September 2014

→ http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/echa-e-news-17-september-2014

ECHAは、9月17日付けでe-Newsを掲載した。

内容は、リスクアセスメント専門委員会(RAC)がメタノールを含む5つの化学物質の調和化された分類・表示(CLH)案に合意をした件、など。

【2014/09/18】

- ECHA calls for a new round of comments on the reproductive toxicity of acetochlor

→ http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/echa-calls-for-a-new-round-of-comments-on-the-reproductive-toxicity-of-acetochlor

ECHAは、acetochlor (ISO又は2-クロロ-N-(エトキシメチル)-2'-エチル-6'-メチルアセトアニリド)の調和化された分類・表示 (CLH) 案について、生殖発生毒性についてのみ追加的にパブリック・コンサルテーションを開始した。コメントの提出期限は10月6日。

【2014/09/18】

- ECHA calls for information to avoid unnecessary animal testing

→ <http://echa.europa.eu/information-on-chemicals/testing-proposals/current>

ECHAは、不必要な動物試験を回避するため以下29物質に対する合計47件の試験情報の提出を要請した。コメントの提出期限は、11月3日。

- N-[3-(dimethylamino)propyl] C 12-C18 alkylamide (CAS:1147459-12-8)
- Naphthenic acids, reaction products with diethylenetriamine (CAS:68131-13-5)
- 4,4'-Isopropylidenediphenol, oligomeric reaction products with 1-chloro-2,3-epoxypropane, reaction products with 2-methylimidazole (CAS:68002-42-6)
- Esterification products of 4,4'-isopropylidenediphenol, ethoxylated and prop-2-enoic acid. (CAS:64401-02-1)
- bismuth hydroxide nitrate oxide (CAS:1304-85-4)
- hex-3-yne-2,5-diol (CAS:3031-66-1)

- 1,3-diphenylpropane-1,3-dione (CAS:120-46-7)
- 2,2'-ethylenedioxydiethyl bis(2-ethylhexanoate) (CAS:94-28-0)
- 3-methoxy-3-methylbutan-1-ol (CAS:56539-66-3)
- Linseed oil, polymerized (CAS:67746-08-1)
- Poly[oxy(methyl-1,2-ethanediyl)], α ,
 α' -(2,2-dimethyl-1,3-propanediyl)bis[ω -hydroxy-] (CAS:52479-58-0)
- bismuth citrate (CAS:813-93-4)
- 1-Propanaminium, N-(3-aminopropyl)-2-hydroxy-N,N-dimethyl-3-sulfo-,
N-(C12-18(even numbered) acyl) derivs., hydroxides, inner salts
- sodium O,O-diethyl dithiophosphate || Note: testing proposed with
sodium O,O-diisobutyl dithiophosphate (EC 258-508-5)(CAS:3338-24-7)
- Silsesquioxanes, phenyl (CAS:70131-69-0)
- 1,1'-(isopropylidene)bis[3,5-dibromo-4-(2,3-dibromopropoxy)benzene]
(CAS:21850-44-2)
- 2-amino-2-ethylpropanediol (CAS:115-70-8)
- N,N'-hexane-1,6-diylbis(hexahydro-2-oxo-1H-azepine-1-carboxamide)
(CAS:5888-87-9)
- 2-Butyne-1,4-diol, polymer with 2-(chloromethyl)oxirane, brominated,
dehydrochlorinated, methoxylated (CAS:68441-62-3)
- bismuth oxide salicylate (CAS:14882-18-9)
- 1-Propanaminium, N-(3-aminopropyl)-2-hydroxy-N,N-dimethyl-3-sulfo-,
N-(C8-18(even numbered) acyl) derivs., hydroxides, inner salts
- 4-methylthiosemicarbazide (CAS:6610-29-3)
- fatty acids, C16 and C18 unsatd., polymers with bisphenol A,
Bu glycidyl ether, epichlorohydrin and triethylenetetramine
(CAS:105839-18-7)
- l-Glutamic acid, N-coco acyl derivs., disodium salts
(CAS:68187-30-4)
- praseodymium(III,IV) oxide (CAS:12037-29-5)
- N-[3-(trimethoxysilyl)propyl]butylamine // Note: testing proposed
with N-(3-(trimethoxysilyl)propyl)ethylenediamine
(EC No. 217-164-6) (CAS:31024-56-3)
- 1,4-diisopropylbenzene (CAS:100-18-5)
- Isononanoic acid, C16-18 (even numbered)-alkyl esters
(CAS:111937-03-2)
- Isononyl isononanoate (CAS:42131-25-9)

●セミナー情報

【産業技術総合研究所】

- ・ CCQM-NMIJシンポジウム“Impact of Chemical Analysis and Reference Materials in Regulation on Food”食品の規制に係わる化学分析と標準物質の役割

→ https://www.nmij.jp/public/event/2014/CCQM-NMIJ_symposium/

標記お知らせが掲載された。

- ・ 開催日時：10月16日（木）13:00～17:00（受付12:30～）
- ・ 会場：つくば国際会議場中ホール300

【農業環境技術研究所】

- ・ 第28回気象環境研究会 生態系の微量ガス交換と大気浄化機能 (開催案内) を掲載しました。

→ <http://www.niaes.affrc.go.jp/sinfo/sympo/h26/20141119.html>

下記の要領で標記研究会が開催される。

日時：11月19日13:00～17:15

場所：つくば国際会議場2階 中会議室202

プログラムは、

- ・ 大気成分の沈着現象の科学
- ・ 大気からの水銀の湿性・乾性沈着
- ・ 広域スケールでの有機化学物質の移動と沈着（仮）
- ・ 植物による揮発性有機化合物の吸収
- ・ 植物によるハロゲン化合物の双方向交換
- ・ 森林土壌中のメタン酸化細菌によるメタン分解
- ・ 生態系スケールでのメタンの吸収
- ・ 土壌によるガス吸収現象の統一的な理解に向けて

【東京都立産業技術研究センター】

- ・ 世界の化学物質規制を強み・チャンスへと変える環境経営

→ <http://www.iri-tokyo.jp/seminar/h26/141016-4forum.html>

日時：10月16日 13:30～17:00

場所：東京都立産業技術研究センター（本部）

原則として都内中小企業の方（都外の方でも東京に本社、事務所等があれば応募できます）

- ・ 世界の化学物質規制を強み・チャンスへと変える経営・製造現場
- ・ 品質管理における規制物質の汚染・混入リスク管理について
- ・ 都産技研の化学物質管理に関連した研究成果と技術支援
- ・ グループディスカッション

【九州経済産業局】

- ・化学物質管理セミナー開催案内

→ http://www.kyushu.meti.go.jp/event/1409/140909_1.html

日時：10月8日(水) 13：30～16：00

場所：西日本総合展示場新館3階 304会議室

大企業、地域中小企業群が部品・部材・加工等で重層化する中、工業製品のサプライチェーンでは、製造過程や成形品中の化学物質の移動等の情報流通の効率的な管理や川下への情報提供が求められています。

そこで、化学物質管理に関する法制度や地域中小企業の実態調査結果を踏まえた現状と課題を紹介します。

【埼玉県】

- ・埼玉県 平成26年度化学物質対策セミナー

→ <http://www.pref.saitama.lg.jp/site/kagaku-koshuu-kenshu/taisakuseminar26.html>

化学物質取扱事業者の方を対象に、化学物質の震災対策などについて専門家が解説します。定員300名（先着順）、参加費無料、申込締切は10月10日（金）。

日時：10月20日（月） 13時30分～16時40分まで

場所：浦和コルソ（さいたま市）

※ 本セミナー情報は、参加費無料のものに限定しております。

【NITEケミマガ】をご利用いただきまして、ありがとうございます。

- 【NITEケミマガ】のバックナンバーは、下記HPをご覧ください。

→ <http://www.safe.nite.go.jp/shiryo/chemimaga.html>

- 配信停止をご希望の方は、以下のURLをクリックして下さい。

→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

- 配信先e-mailアドレスの変更をご希望の方は、以下のURLをクリックして配信停止手続きをしていただき、新たに配信登録をお願いします。

配信停止→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

配信登録→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_01.html

- ご意見・ご感想・ご要望等は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

chem-manage@nite.go.jp

- ・ 【NITEケミマガ】の転送、複写は、読者の組織内に対し全文の転送、複写をする場合に限り、自由に行って頂いて構いません。

- ・ 組織外への公表・転送、商用利用等につきましては、以下のメールアドレスまで

お問い合わせください。

→ chem-manage@nite.go.jp

・発行元：独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター